

飲酒運転撲滅宣言企業 (一社)日本損害保険協会 九州支部



○ (一社)日本損害保険協会 九州支部様の紹介

日本損害保険協会は、損害保険会社を会員とする事業者団体で、損害保険の普及啓発・理解促進に資する事業、事故、災害および犯罪の防止・軽減に資する事業等を行っています。

東京に本部、全国に11の支部があり、九州支部は福岡に拠点があります。

企業HP

<http://www.sonpo.or.jp/>



○ 飲酒運転撲滅に向けた取組事例

- ① 企業の経営者、運行管理者、安全運転管理者などの方々に飲酒運転防止教育や研修を行っていただく際の手引きとして活用していただく「飲酒運転防止マニュアル」を平成17年に作成し、以降改定を重ね、約93万5,000部を作成、配布しました。企業や自治体等を中心に活用していただいています。
- ② 平成24年度から「飲酒運転撲滅キャンペーンTEAM ZERO FUKUOKA」に協賛しています。また、平成25年度からは同団体が主催する「飲酒運転ゼロへのポスターコンクール」にも協賛しています。
- ③ 平成24年9月から、新聞で毎月掲載された飲酒運転撲滅の特集記事において、「飲酒運転防止マニュアル」を要約した内容が10回に渡って掲載されました。
- ④ 平成25年11月、交通事故をなくす福岡県県民運動本部（福岡県、福岡県警察、（一財）交通安全協会等）主催の「飲酒運転撲滅キャンペーン」において、街頭啓発に協力し、「飲酒運転防止マニュアル」を1,000部配布しました。
- ⑤ 平成27年9月、福岡県、福岡県警察、福岡ソフトバンクホークスと連携し、「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない、そして見逃さない」のスローガンを入れた団扇を作成、配布しました。



平成17年に「飲酒運転防止マニュアル」を作成以降、配布数は90万部を超えています。



平成27年、飲酒運転撲滅の団扇を作成しました。

○ (一社)日本損害保険協会 九州支部の方にインタビューに答えていただきました！！

Q 飲酒運転撲滅のための取組を始めたきっかけは何ですか？

A 当会では、以前から交通事故防止活動に関するノウハウを活かしながら、会員の損害保険会社とともに企業の社会的責任活動の一環として飲酒運転のない社会になるよう様々な取り組みを推進してきました。

飲酒運転撲滅をめざしたチームゼロFUKUOKAの取組についても当初から賛同し、積極的に参加しています。



損害保険会社やその代理店の役職員、その他、福岡県や福岡県警察等と一緒に、天神で街頭啓発を行いました。

Q 飲酒運転撲滅のための取組を行うようになって、従業員に意識の変化はありましたか？

A 損保業界の飲酒運転撲滅へ向けた結束が強まりました。

たとえば、昨年9月には、福岡独自の取組として、福岡県警、福岡県庁、ソフトバンクホークスと連携し、損害保険会社とその代理店の役職員が中心となって天神の街頭で飲酒運転撲滅のスローガンを入れた団扇を配布、熱く社会へ訴えました。

「TEAM ZERO FUKUOKA」が主催している、「飲酒運転ゼロへのポスターコンクール」にも協賛しています。



Q 飲酒運転撲滅に向けたメッセージや今後取り組んでいきたいことをお聞かせください。

A 飲酒運転のない社会を1日でも早く実現できるよう貢献していきたいと思います。

そのために地域の状況を踏まえた、新たな取組を警察、自治体、地元企業等と連携して、積極的に推進していきます。